

三河繊維産業商品開発研究会とTDA会員とのコラボレーション



JC（ジャパングリエーション）2006に出展（有明ビッグサイト2005年12月7日～9日開催）三河産地は綿織物の産地として有名であったが、近年はポリエステルカーテン産地としてインテリア業界では知られている。又、特徴的なのは産元商社が全面に出て、機屋さんの姿は見えないという今時不思議な産地であり、ビジネス形態もOEM（相手先ブランドによる生産）生産であった。これからどう脱皮できるかが今後の産地の生き残りが課題であった。三河商品開発研究会はTDAとコラボレーションすることで、企画会社やデザイナーと直接取り組み主体的な「モノ作り」を目指した。この事業は、「モノ作り」だけではなく、今後の事業の継承の為に若手「人材育成」も併せて行った。「人材育成」については杉山が担当し、基本的な商品化計画をレクチャーし乍ら、TDAのデザイナーと組んで「モノ作り」を進めてきた。

第一回目の事業であり、J/Cの出展の成果は、当初より期待されるものではなかったが、主体的な企画力～モノ作りを研修し、直接デザイナーと取り組みモノを作り、展示商談会のディスプレイを考えショーイングも行ったことが大変良い経験となった。モノ作りも含めた研修は多大な経費がかかる。参加企業の社長さん方には大変な御理解と我慢を戴きました。

・ 個社ごとの企画～モノ作り、出展も各社別スタンド「個・性・共・演」従来の産地組合の出展は専門のコーディネーターへの依頼で、コンセプト～テーマカラー、デザイン展示構成迄、コーディネーターサイドで企画提案し、モノ作りはデザインを振り分けて作る事が多かったが、今回はこれから個別で行うことで、とかく同質的な産地内の同業者から、どう自社の特徴を打ち出すかが目標の一つでもあり、この第一歩となった。多くの課題を残したが、3年間は継続して行きたい。（杉山 哲三）

・ 参加企業とTDAデザイナー

小森（株）／豊方康人	トキワ織物（株）／古関崇尚
森菊（株）／古屋興一	森重實業（株）／今野文雄
フタキインテリア（株）／今井弘子	（株）松坂／宮嶋直子